



与論島の島是「誠」

# 誠風

個性が輝き 島が輝く 誠の教育

与論町教育委員会 だより

## 第311号

令和5年10月12日発行

891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1418番地1

電話：0997-97-2441/Fax：0997-97-4196

Email：gakumu@yoron.jp

### 町岡教育長退任のごあいさつ

#### 「個性が輝き 島が輝く 誠の教育」の具現化への御協力に感謝

与論町教育委員会 町岡 光弘

平成25年から町長の信任をいただき3期10年間、教育行政を担当させていただきました。その期間、保護者の皆様、身近な役場の各課の皆様、そして直接職務を担当していただいた教育委員会事務局の歴代の局長を始めとする職員・町民の皆様にご心から感謝申し上げます。

この10年間で中学校を卒業した生徒数は、502人となります。その多数は与論高等学校への進学です。全国的に人口減少が叫ばれる中、住みよい町の要素として、子育てや教育（幼児教育から）の充実があります。そういう視点でタイトルのようなキャッチフレーズを掲げています。一人ひとりが最大限に能力が伸長できる教育、その結果として住みよい島に発展し続けるということが実現できる本物の教育（知識も知恵・経験、体力・気力も養う）をとの願いを込めたものです。ふるさと留学制度もその一つです。留学生を含めた生徒一人一人が輝く人間として島を**発**ち、次の地（島）でしっかり自立し、その地（島＝できれば与論に戻って）を**建**てる人材育成の基礎を与論で行う（**島だちの教育**）という願いであります。

社会は急激に変化しています。与論町も大きな進展を遂げました。時代の潮流と職員の努力により、児童生徒全員がタブレット端末を所持することになり、それぞれ「個別最適な学び」等の令和の教育に突入しました。社会も含めてオンライン活用が急速に普及、SNSによる情報連絡も急増しました。また、すべての普通教室にエアコンが設置されました。

与論町の特色ある教育活動も、継続・新規を含めて、特に学校の校長先生方を中心とした教職員、そして保護者の御支援・御協力によって「生きる力」の育成を充実させています。「弁当の日」、「ユンヌフトゥバ学習」「小学校・中学校の道徳に与論のことわざを活用」、「3小学校遠泳大会」「でっかい夢語り大会」「夢育成事業」「子ども議会」などです。さらに、子供会育成連絡協議会による花壇コンクール、子供会大会、ユンヌカルタ大会、清掃活動なども工夫・継続しました。

スポーツ活動においても、ヨロンSCを拠点に、多くの地域の方の御協力がありました。さらに、中学校での地域部活動への移行も県内で先駆けて推進しています。

令和4年度から本格的に開始した「海洋教育」は地域サポーターが活躍していただき、高校生を始めとする子供たちの姿で、成果を上げています。在任中には教育委員会、中学校、与論小、県立与論高等学校、与論町中央公民館が文部科学大臣賞を受賞しました。その他多数の学校における受賞も学校・地域の一体となった活動の成果の例です。

教職員の参加する大島地区の教育実践記録の学校賞は、この10年間で延べ16校が受賞しました。これは学校の先生方が児童・生徒の成長を期して、仮説をもって一年間研究・実践したという一つの証でもあります。保護者と教職員がともに子供を育てるということに情熱をもって進んでいる地域だと自負できる一例です。

もちろん、施設整備等その他の課題もバトンパスということになりました。その意味からも、どうぞ、今後の教育行政の創造的発展に一層の御協力・御支援をお願い致します。再度、すべての皆様にご心から感謝申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



**【2023.6.21開催 与論町海洋教育魅力化シンポジウム】**

2019年に発足し、5年目を迎えた与論町海洋教育推進協議会。

その新たな試みとして『与論町海洋教育魅力化シンポジウム』を開催しました。今回の目的は、島民の方々へ海洋教育の取り組みを周知し、新しい教育の在り方について共に考えることとし、登壇者に、



リクルートEd-tech総研所長の山下真司氏、与論高校にて教育改革進めている甲斐修校長先生を迎え、山下氏は「これからの社会を生きる子どもたちに、何が求められるか？」、甲斐校長先生には「与論高校の挑戦-受験学力を超える“島を育てる学力”を育成する-」をテーマにお話を頂きました。

会終盤には、与論町海洋教育推進協議会の池田剛会長と町岡教育長も加わり、「与論町において今後必要な『教育×地域』の在り方」について、短い時間の中でそれぞれの意見を共有し、与論の教育の未来について考える有意義な時間となりました。ゲストティーチャーとしてお招きした山下さんは、「さまざまな人が参集されたシンポジウムは、教育改革への高い関心を抱くと同時に、与論の子どもたちがこれからの社会を生き抜いてほしいという願いの現れだったように思われます。子どもたちの姿には、未来の与論が映し出されます。子どもたちにわくわく感や憧れを伝えられるのは本気の大人の姿しかありません。チーム与論として一人一人当事者意識をもって、子どもたちに向き合ってほしい」と、与論への希望と願いを込めたお言葉を頂きました。

**【2023.8.3開催 第2期生夏季集中サイエンスキャンプ報告会】**

8月3日、夏季集中サイエンスキャンプのオンライン報告会を行いました。

令和4年度から取り組まれている、東京大学大気海洋研究所、与論高等学校、与論町海洋教育推進協議会の合同企画である夏季集中サイエンスキャンプは今年度の新2年生から6名を2期生に迎えました。また新たに岩手県立大槌高校も加わり、環境の異なる地域の高校生との交流を深めつつ、3日間取り組みました。

今年度は台風の影響を受け、6名中4名が東京大学柏キャンパスへ訪問。8月1日から8月3日の3日間、与論島に残った生徒2名とオンラインで繋ぎ、現地での測定や科学分析結果を共有しつつ、考察を繰り返しました。報告会も形を変え、事前に視聴希望者を募り、各自それぞれの端末からオ



ンライン報告会へ入室した結果、約50名の方が生徒たちの報告を見守りました。生徒たちは第1期生と同様に、さらに仮説と考察を繰り返す、それぞれの発表の精度を高め、1月末に行われるヨロン海洋教育フェアや島外への発表に挑戦していきます。

**教育委員会活動報告**

定例会	7月12日 (水) 開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>『誠風第310号』の発行について</li> <li>区域外就学について</li> </ul>	
定例会	8月3日 (木) 開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度与論町立学校給食センター基本構想策定委員会設置要綱について</li> <li>令和6年度使用小学校教科用図書の採択について</li> <li>区域外就学について</li> </ul>	
定例会	9月6日 (水) 開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>与論町立学校における学校運営協議会に関する規則(案)について</li> </ul>	

**主な行事予定**

10月12日	小学校陸上記録会 エリア推進スクール研究授業 (与論中学校・社会)
10月14日	土曜授業
10月19日～	博物館がやってきた！In与論島 (10月22日まで)
10月20日	津川清一氏による国際理解講座 (役場多目的ホール)
10月24日	就学時健康診断
10月31日	大島地区研究協力校公開研究会 (茶花小学校・算数)
11月1日	定例教育委員会・与論中学校文化祭